

1 概要

(1) 日時、場所

9月24日(水) 9:30~10:55 13:05~17:30 三木キャンパス

(2) テーマ

関西国際大学の「今」と「10年後」～国際大学としてのブランディングと戦略～

◆テーマ設定の理由◆

今年度は一貫したFDを推進していくために、8月20日、21日に開催した今年度第1回FD研修会と同じテーマを掲げている。

10年後の生き残りは無論、発展を目指して、特に国際大学としてのブランディングに焦点を当てて取り組んでいくことが必須である。まずは適切に現状分析を行ない、中長期的な戦略を立てていくことが重要である。

テーマに迫っていくために、今回第2回FD研修会は、まずこれまで本学が推進してきた「学生支援型IR」の取り組みについて全教員の共通理解を図る。そして、アメリカIR学会エグゼクティブ・ディレクターであるランディ・スウィング氏に講演とワークを展開して頂くことにより、アメリカIRの取り組みのトレンドを知るとともに、ルーブリックやポートフォリオなど、多面的な評価による学生の学びの質保証を志向することを目的とする。なお、氏の招聘は3度目(2002年度、2010年度)であり、FD研修会の前後におけるコンサルティングや事業評価も含め、より充実した示唆を得られることを期待したい。

(3) 到達目標

- 各学科の、秋学期及び来年度の科目間連携の具体的プランを共通理解する。
- 2014年度春学期中に収集したデータについての分析の報告を受けることを通して、本学の現在の課題を共通把握する。
- 本学がこれまで志向してきた「学生支援型IR」の取り組みを共通確認し、今後の課題を共有する。
- アメリカ高等教育研究の第一人者の見識に触れることを通して、本学の教育活動の発展に活用する具体的視点を組織として獲得する。

2 プログラム

午前

- (1) 趣旨説明及び内容と目標
〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉 [09:30-09:40] (10 min.)
- (2) 【On-campus セッション】①
報告「各学科専攻（看護学科を除く）からこれまでの科目間連携の振り返りと 2014 年度秋学期の取り組み予定及び 2015 年度に向けてのプラン」〈各学科長（専攻主任）〉 [09:40-10:15] (35 min.)
- (3) 【report セッション】
報告「適応調査の分析」〈田中重裕子高等教育研究開発センター初年次教育部門長〉 [10:15-10:55] (40 min.)

午後

- (4) 【overview セッション】
レクチャー「学生支援型 IR の分析」〈藤木清評価センター長〉 [13:05-13:50] (45 min.)
- (5) 【On-campus セッション】②
講演「アメリカの高等教育における IR と質保証（仮）」及びワーク 〈Randy L. Swing, Ph.D.〉 [13:50-17:05 〈間に 15 min. の休憩を含む〉] (180 min.)
- (6) 【reflection セッション】
レクチャー「振り返り：今回の FD における学びの総括と秋学期への展望」〈濱名篤学長〉 [17:05-17:20] (15 min.)
- (7) まとめと到達確認チェック
〈松岡宏明高等教育研究開発センター長〉 [17:20-17:30] (10 min.)

.....

Randy L. Swing, Ph.D.

ジョージア大学で修士号と高等教育の博士号取得。アパラチア州立大学で Institutional Research、学生評価を含めた機関研究に 20 年以上携わった後、ノースカロライナ州グリバードにある 1 年次教育政策研究所所長を経て、現在、米国 AIR (Association for Institutional Research) Executive Director